

# 第49回

# 九州地区人権・同和教育夏期講座

地元テーマ

「学びつつ変わりつつ」をこれからも  
～自分を変える 社会が変わる 未来を担う子どもたちのために～

ごあいさつ

九州各地において差別の解消と人権の確立に向けた取り組みを重ねていただいております。深く敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

さて、3年以上にわたる新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、ようやく沈静化に向かい国の新たな対応策が講じられるようになりました。感染拡大を機に、日本各地で感染者等に対する攻撃や排除などの差別行為が横行しました。また、インターネット上には、悪意に満ちた部落差別情報や特定の個人を執拗に誹謗中傷する書き込みがあふれています。日本社会において人権が脆弱な状況であることの表れです。

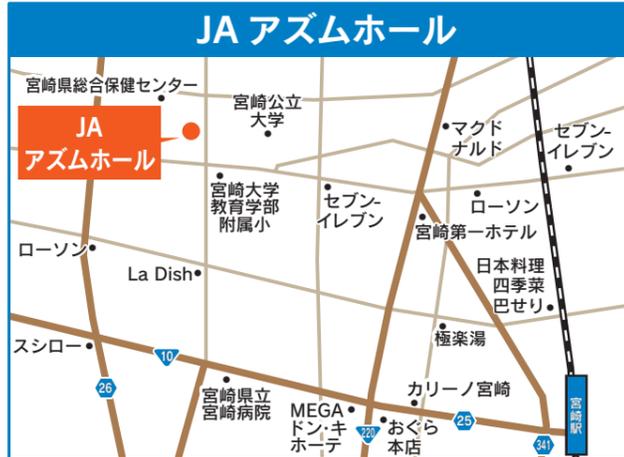
日本国憲法は第11条で、「基本的権利は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。」と基本的権利の保障を謳うと同時に、第12条で、「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。」と私たち一人ひとりの不断の努力が求められています。

人権が確立された社会の実現に向けては、次々と生じるあらたな課題やそれらに対応する法や制度、課題解決に向けた具体的な手立てなどについて、私たちは学び続けそれぞれの実践に活かしていくことが不可欠です。

第49回九州地区人権・同和教育夏期講座宮崎大会は、4年ぶりに参加者が現地に集っての開催となり、ようやく分科会における実践交流の場を設定できるようになりました。各地で取り組まれている、厳しい状況に置かれている子どもやおとなの実態をふまえた実践の交流をとおして、九州全体としての火種の学びを深めたいと考えます。

開催地宮崎では、幅広い構成で宮崎県実行委員会を組織し、開催に向け万全の準備を重ねていただいております。九州各地から一人でも多くの方々に参加していただきますようお願い申し上げます。

第49回九州地区人権・同和教育夏期講座 実行委員長  
九州地区県同教連絡協議会 会長 有光 洋



### シャトルバスを運行します。

会場までの交通手段は、路線バスとタクシーしかありません。また、**路線バスは1時間に1本しかありません。**そこで、以下の時間でシャトルバスを運行します。[有料(第49回九州地区人権・同和教育夏期講座ホームページをご覧ください)]満車の場合は、ご乗車できない場合があります。予めご了承ください。

- 宮崎駅東口発 11:00～13:30まで  
\*12時台は混雑が予想されます。11時台の利用をお願いします。
- 市民文化ホール(福祉文化公園)発 16:30から1時間程度運行します。
- 市民文化ホール(福祉文化公園)発 15:30から1時間程度運行します。

8月17日(木)

8月18日(金)

## 参加についてのお願い

- ①全体会・分科会ともに**事前の申込みが必要です**。右のQRコードから、もしくは第49回九州地区人権・同和教育夏期講座ホームページをご覧ください。参加費は、当日受付でお支払いください。  
URL <https://kyuudoukyou-kakikoza.jp/>  
電話・FAX・メールでの申込みには対応していません。
- ②Webからの申込みが難しい場合は、所属の県同教・県人教へお問合せください。(下記の各県お問合せ先参照)
- ③申込み期間 **2023年7月14日(金)13時～8月4日(金)17時まで**
- ④**すべての会場で収容人数に制限があります**。収容人数を超えた場合は、他の分科会への申込みをお願いします。お早めに参加申込みをされますようお願いいたします。
- ⑤申込み完了後に受付番号が自動返信されます。**当日、受付にて自動返信メールの内容を提示してください**。確認後、参加費をお支払い頂き、要録・資料をお受け取りください。  
\*ご自身の受付番号(自動返信メール)が不明な方は、「申込み確認ブース」にて確認致します。受付番号の内容提示がない場合は、ご入場頂けません。予めご了承ください。
- ⑥全体会会場の駐車場は十分ではなく、会場周辺に有料駐車場はありません。また、**分科会会場には駐車場はありません**。公共交通機関(バス、タクシー)の利用をお願いします。  
\*宮崎駅～宮崎市民文化ホール間のシャトルバスを運行します。[有料(第49回九州地区人権・同和教育夏期講座ホームページをご覧ください)]
- ⑦宿泊予約・昼食準備は各自をお願いします。  
\*宿泊について、必要な方は日本旅行にご相談ください。☎0985(24)5255  
URL <https://www.nta.co.jp/shop/shoplist/9875/>
- ⑧新型コロナウイルス感染症の拡大により開催内容や開催方法に変更が生じた場合や、台風等の悪天候や自然災害により中止になる場合は、第49回九州地区人権・同和教育夏期講座のホームページでお知らせしますので、開催日が近づきましたら各自でご確認ください。



日時 2023年 **8月17日(木)・18日(金)**

17日	9:00	10:00	12:00	13:00	13:20	14:10	14:40	16:30
	受付	特別講座Ⅰ 〈学びと交流〉分科会	昼食	特別講座Ⅱ 〈学びと交流〉分科会	受付	全体会 記念講演(110分)		
18日	9:00	10:00	12:00	13:30	15:30			
	受付	特別講座Ⅰ 〈学びと交流〉分科会	昼食	特別講座Ⅱ 〈学びと交流〉分科会				

**会場** 全体会・特別講座  
宮崎市民文化ホール大ホール イベントホール(サブ会場)

**分科会**  
宮崎市民文化ホール イベントホール 宮崎市民プラザ ギャラリーⅠ・Ⅱ  
宮崎市民プラザ オルブライトホール JAアズムホール大ホール・大研修室

参加・資料代 **3,000円**(当日受付でお支払いください)

**主催** 第49回九州地区人権・同和教育夏期講座実行委員会  
第49回九州地区人権・同和教育夏期講座宮崎県実行委員会

**後援** 熊本県教育委員会 鹿児島県教育委員会 長崎県教育委員会 福岡県教育委員会 大分県教育委員会 佐賀県教育委員会 沖縄県教育委員会 公益社団法人全国人権教育研究協議会 全国障がい者連絡協議会九州ブロック協議会 部落解放共同九州ブロック県民会議 九社連児童養護施設協議会 九州ブロック PTA 協議会 宮崎県 宮崎県教育委員会 宮崎市 宮崎市長会 宮崎県町村会 宮崎県市町村教育委員会連合会 公益財団法人宮崎県私学振興会 部落差別をなくす宮崎県民会議 部落解放共同宮崎県民会議 日本労働組合総連合会宮崎県連合会 宮崎県平和・人権・環境労働組合協議会 宮崎県教職員組合 宮崎県高等学校教職員組合 同和教育にとりくむ宮崎県宗教同教連絡協議会 NHK 宮崎放送局 MRT 宮崎放送 UMK テレビ宮崎 エフエム宮崎 MCN 宮崎ケーブルテレビ 宮崎日日新聞社 朝日新聞宮崎総局 西日本新聞社 毎日新聞社 読売新聞西武本社 夕刊テイエリ-新聞社 宮崎県PTA 連合会 宮崎県PTA 連合会 一般社団法人宮崎県保育連盟連合会 一般社団法人宮崎県幼稚園連合会 宮崎県農業協同組合中央会 宮崎県公民館連合会 宮崎県自治会(区会)連合会 一般社団法人宮崎県商工会議所連合会 宮崎県商工連合会 宮崎県民生委員児童委員協議会 公益財団法人 日本教育公務員弘済会宮崎支部 宮崎公立大学 宮崎国際大学 南九州大学 南九州大学短期大学部 九州保健福祉大学 宮崎学園短期大学 宮崎大学 宮崎交通株式会社 宮崎力士株式会社 株式会社宮崎銀行 九州労働金庫宮崎本部 西日本電信電話株式会社宮崎支店 宮崎太陽銀行 株式会社日本旅行宮崎支店(申請中含む)



みやぎき犬使用許可 第20230001号

- 各県お問い合わせ先**
- 鹿児島県同教 ▶ 099-218-9310
  - 熊本県人教 ▶ 096-384-5454
  - 佐賀県同教 ▶ 0952-62-6434
  - 長崎県人教 ▶ 0957-50-1268
  - 福岡県同教 ▶ 092-651-8600
  - 大分県人教 ▶ 097-556-1012

**第49回九州地区人権・同和教育夏期講座 事務局(宮崎県同教)**  
 HP: <https://kyuudoukyou-kakikoza.jp/>  
 〒880-0903 宮崎市太田1丁目3番39号 宮崎県教育会館内  
 TEL 0985(65)6003 FAX 0985(65)6004

お問い合わせ先

# オープニング

宮崎花ふぶき一座 みやた 宮田 わかなさん

わたしたちは、チンドンを通じて、人々の暮らしの中に「笑顔」と「元気」を届けます。わたしたちは、江戸時代から続くチンドンを日本文化のひとつとして継承しつづけます。わたしたちは、チンドンを通じて、顔の見えるおつきあいを大切に地域活性化において、なくてはならない存在になります。

# 地元報告

「デパートの香り」 あきやま まりこ 秋山 真理子さん

3歳から祖父母と暮らしていた私。県外で働く両親とは年に1度しか会えなかった。親がいない日常は当たり前風景だったけれど、「誕生日」だけはどうしても寂しさを感じていた。そんな私に、小学1年、7歳の誕生日に、担任の先生からもらった素敵な贈り物とそれからについてお話しします。

# 記念講演

「こども基本法でどう変わる？子どもの権利保障」 いわつき ゆか 認定NPO法人ACE代表 岩附 由香さん

2023年4月、こども基本法が施行され、こども家庭庁が発足しました。こども基本法の成立に向け、どのような政策提言が行われ、また子どもの権利保障がこのこども基本法でどのように進みうるのか、更に行政や地域で求められる実践は何か、お話しします。

# 特別講座 I

「誰一人置き去りにしない教育を求めて ～夜間中学から見えてくること～」 しろのうち のぶひと 一般社団法人 基礎教育保障研究所 理事長 城之内 庸仁さん

最後のセーフティーネットといわれる「夜間中学」、あつてはならない学校、しかし、なくてはならない学校といわれる「夜間中学」。その意味をみなさまと共有し、夜間中学のこれまでとこれからを一緒に考えていきたいと思えます。また、九州エリアにおける基礎教育の保障についても共に検討できたらと思えます。

# 特別講座 II

「民の言葉でつづる土呂久の歴史」～銀山・ヒ素公害・過疎の集落～ かわはら かずゆき 宮崎大学土呂久歴史民族資料室 客員教授 川原 一之さん

毒ガスの原料になったほどの強い毒性の亜ヒ酸の製造に従事した労働者。そのすさまじい健康被害が公害の原点でした。鉱山集落だった土呂久の人たちの言葉で、この100年に起きた人権侵害と差別の具体例を報告します。

## 第1分科会

【会場】宮崎市民プラザ ギャラリー I

### 乳幼児期にかかわって



●「子どものホントの思いをしることから始める私たちの保育」

【宮崎】 古城認定こども園 橋本 倫菜

パニックになると、大声で泣きわめくSさん。でもSさんの本当の気持ちは、「本当は友だちと仲良く遊びたいんだよ」でした。私たち保育士が、Sさんについて話し合い取り組んだ実践の報告です。

研究協力者 勝山 結夢(NPO 法人国際臨床保育研究所)

## 第2分科会

【会場】JA アズムホール 大ホール

### 学校の教育力の充実 I



●「話してよかったですと思いました」

【熊本】 合志市立合志南小学校 西依 碧

西依さんが中学3年生まで参加した学習会。自分が受け入れられているという安心感を持つことができた経験から、担任する学級もそういう場所であってほしいと思い、学級で語る取り組みを進められました。様々なことを子どもたちが差し出しながら学級が繋がっていく姿が綴られています。

●「すべての子どもが自分らしくいられるために」～全生徒・全職員が ALLY に～

【佐賀】 上峰町立上峰中学校 平田 真由美

LGBTQの学習を通して多様性を尊重する集団づくりをめざします。その実践の中で「男物の浴衣が着たい」とAさんの訴え。全生徒・全教職員が自分事として考え、ALLY(支援者)になっていきます。そして、「ALLY宣言」までの報告です。

## 第3分科会

【会場】宮崎市民プラザ ギャラリー II

### 学校の教育力の充実 II



●「6年生になったから、がんばりたい」

【福岡】 田川市立鎮西小学校 陣内 麗菜

初めての6年生担任、子ども一人ひとりを見つめ、子どもどうしをつなぎ、安心して過ごすことができる学級づくりの取り組み、また、地域に根差した教材による部活問題学習の取り組みについて提起します。

●「仲間とつながることで」

【佐賀】 有田町立西有田中学校 佐藤 千明

報告者が3年間、生徒たちに寄り添いながら「自分を解放し、仲間とつながること」をめざして行ってきた実践です。担任として試行錯誤を繰り返すなかで、生徒たちとともに歩むことで変容が見え始めます。

## 第4分科会

【会場】JA アズムホール 研修室

### 子ども支援・親支援 I



●「あのね、ゆうちゃんに『ここピカピカにしている』って話したよ」

【鹿児島】 薩摩川内市立川内小学校 流合 博美

しょうがい理解学習を通して、声をかけることが特別なことではなく、「あたりまえ」のことだと気づく子どもたち。子どものありのままを母親とともに受けとめ、自分自身の子どもをみるまなざしを見つめなおしていった報告です。

●「安心して本音が話せるつながりをつくるために」

【長崎】 新上五島町立上五島中学校 浦田 まゆ 佐世保市立宮中学校 本多 いずみ

どうしても教室に入ることができないAさんを校内の様々な立場の職員の連携によって支援した取り組みです。特にサポートルームは居場所の一つになっていきました。進路を保障するために様々な立場からの関わりを考えた報告です。

## 第5分科会

【会場】宮崎民文化ホール イベントホール

### 子ども支援・親支援 II



●「困りや課題を抱えた生徒と関わって感じた事」

【大分】 大分県立中津南高等学校 久本 見二

これまで関わった困りや課題を抱えた生徒の中には、進路変更する者や悩みながらも卒業していった者がいました。自分は彼らと真に向き合ってきたのか、自分自身の関わり、校内の取り組みや連携、担任の向き合い方を考えてみました。

●「産まれてきてくれて、ありがとう」

【熊本】 阿蘇市立一の宮小学校 甲斐 翼

子どもたちをどうつないでいくか、先輩の先生から教えていただいた「生い立ちの記」の取組を実践されました。自分を見つめ、家族の思いに触れながら、これからの自分のことを綴っていく子どもたち。その子たちと先生もつながっていかうとされる『なかまづくり』の実践です。

## 第6分科会

【会場】宮崎市民プラザ オルブライトホール

### 人権のまちづくり



●「一人の生い立ち、そして同じ『人』であること」

【熊本】 熊本県人権教育研究協議会 曽方 晴希

小さい頃から自分の性に違和感を感じていた報告者が、自分と似た境遇をもつ人たちとの出会いを通して変容していき、自分の生い立ちを振り返りながらこれからの生き方を綴った報告です。

●「今やっているこの苦労は、将来絶対自分のプラスになるんだ」～地域と学校で学び育つAさんの姿から学ぶ～

【福岡】 直方市立植木中学校 桐原 ゆかり 直方市中央隣保館 松永 昌代

福岡県では実態調査で明らかになった課題解決のため、各地で中学校区ごとに学校と地域、関係機関が連携・協働の取り組みを進めてきました。直方市では、1996年から5期にわたって5年ごとに中学校ブロック人権教育推進事業を実施しています。連携・協働の具体像とその価値を提起します。